

げいじゅつかんしょうかい

芸術鑑賞会がありました

9月24日(火)に文化庁が実施している「令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」が、ありました。

これは、学校においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を通して、将来を担うすべての子どもたちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図ることなどを目的として全国で行われています。

今回は、関西フィルハーモニー管弦楽団を招いて、午前に1~3年生、午後は4~6年生の2部構成での開催となりました。7月3日にもワークショップとして3名の方の演奏で事前学習をしましたが、今日は、スタッフ総勢約70名の迫力あるオーケストラでした。

テレビ番組やコマーシャルなど、どこかで聞いたことのある楽曲が演奏されると体が自然に反応する子や声に出して一緒に歌う子もいました。楽器の紹介(弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器)では、その音の質や高低の違いを感じることができました。そのなかでも、ハープの音色は、生で聴く機会が少ないのでとても集中して耳を傾けている姿が見られました。

子どもたちの2種類の手拍子と楽団が共演するコーナーもありました。途中でリズムがかわっても、楽しそうに曲に合わせて手拍子していました。

最後は、オーケストラバージョンに編曲した飯野小学校の校歌を演奏に合わせてみんなで歌いました。一体感と迫力のある校歌を聴くことができました。

